



プラネタリウム

「はやぶさ2、小惑星へ！」

大阪市立科学館のプラネタリウムでは、9月2日(火)~11月30日(日)の期間、「はやぶさ2、小惑星へ!」というテーマで投影を行います。小惑星探査機「はやぶさ2」の計画を紹介するだけでなく、「小惑星」というあまりなじみのない天体についても紹介します。プラネタリウムならではの、ドームスクリーンを生かした映像を交えて、「はやぶさ2」の探査計画と小惑星について学ぶことができます。



企画展「はやぶさ2」

大阪市立科学館の展示場では、9月2日(火)~11月30日(日)の期間、「はやぶさ2」をテーマに企画展を開催します。「はやぶさ2」の探査計画を精密なCGで描いた池下章裕氏のイラストパネルの展示をはじめ、はやぶさ2の機体や搭載機器、打ち上げロケットなどの模型の展示や、小惑星のかけらである隕石資料の展示とともに、探査・研究に携わっている大学や研究機関の紹介もします。



▲C型に分類される隕石の一つ、アエンデ隕石。はやぶさ2が探査目標としている小惑星1999JU3は、C型隕石に似た岩石でできていると予想されています。

▼H-2Aロケット(1/20模型)
はやぶさ2は種子島宇宙センターからH-2Aロケットで打ち上げられる予定です。



全天周映像

「HAYABUSA -BACK TO THE EARTH- 帰還バージョン」

2010年に地球に帰還した「はやぶさ」の7年間の旅をドームスクリーンいっぱいに広がるCGで再現します。まるで「はやぶさ」と共に宇宙を旅しているかのような臨場感あふれる映像です。「はやぶさ2」の出発の前に、「はやぶさ」の奮闘を振り返ってください。(土日祝日 12時から 3月29日(日)まで)



▲現在上映中の全天周映像「HAYABUSA -BACK TO THE EARTH- 帰還バージョン」

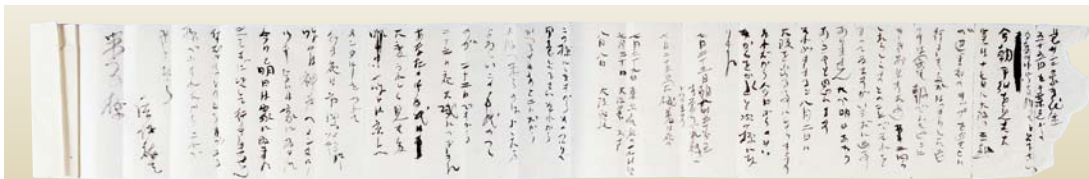
「はやぶさ2」の打ち上げ前に、大阪市立科学館で「はやぶさ2」に詳しくなって、「はやぶさ2」の打ち上げを応援しましょう。

◆学芸員のおススメコレクション◆

大阪新美術館建設準備室 佐伯祐三 自筆手紙

パリの街を描き続けた大阪出身の画家、佐伯祐三(1898-1928)。1924年から2年間パリに滞在、一時帰国の後再び渡仏し、30歳で天逝しました。この手紙は再渡仏直前の1927年、大阪に帰省中の佐伯が妻に宛てたもので、パリ行きのシベリア鉄道の切符を買ったことと、出発までのスケジュールを伝えています。「この様にしますからそのつもりで用意してください」と告げる独断的で性急な文面からは、パリへ戻るという佐伯の強い決意が感じられます。一家は12日後に大阪を出発。佐伯と一人娘の彌智子(パリで病没)にとっては、二度と戻ることのない永遠の旅立ちとなりました。

(大阪新美術館建設準備室学芸員 高柳有紀子)



※今回紹介した手紙は「大阪新美術館コレクション 佐伯祐三とパリーポスターのある街角」(宇都宮美術館にて、11月3日まで)に出品されます。

佐伯祐三 手紙
(1927年7月21日付 妻・佐伯米子宛)
大阪新美術館建設準備室蔵

大阪新美術館建設準備室 [ホームページ](http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu120/artrip/)

大阪市立博物館・美術館・動物園

大阪てくてくミュージアム

大阪市立東洋陶磁美術館 / 大阪市立科学館 / 大阪市立美術館
天王寺動物園 / 大阪城天守閣 / 大阪歴史博物館
大阪新美術館建設準備室 / 大阪市立自然史博物館

